

地中熱ヒートポンプの可能性を探る講習会



システムです。
 地中の温度は年間を通じて一定のため、安定した熱エネルギーを取り出すことが可能、とされています。すでに町内で新築の住宅で暖房システムとして採用する例が始まっているといえます。
 町では、同方式のシステム有効性を検証するため、今年10月に落成予定の国際交流会館（東町3丁目、女子学生会館に併設）にヒートポンプ方式の冷暖房システムを初めて採用しました。環境省補助を受けて5年間実証試験をする予定。

キトウシ森林公園でミニバイアスロン大会



7月26、27の2日間、キトウシ森林公園特設コースで（一社）日本バイアスロン連盟主催の2014東川ミニバイアスロン大会が開かれました（大会成績は24ページ）。
 将来有望な選手を育てよう、と昨年からは始まりました。今年は小学校低学年から一般まで41人がエントリー。地元東川町からは東川クロスカントリースキー少年団の9人が出場しました。
 ランニングまたはローラースキーと射撃を組み合わせた競技。2回の射撃を繰り返してコースをランニングまたはローラースキーで2周回し、3周目にゴールします。
 この日は雨天のレースとなりました。出場者は前日に講習を受けて臨みましたが、うまぐすの狙いを落とすのは難しい様子。しかし子どもたちは戸惑いながらも雨の中で射撃競技を楽しんでいました。

プリウスの森、5年目の下草刈り

次世代の冷暖房システムとして研究が進み、道内住宅への暖房システムとして導入も始まっている地中熱ヒートポンプについて、初めての基礎知識講習会が8月21日、役場職員を対象に行われました。町職員にその有効性を初めてアピールしました。
 北海道電力(株)旭川支店の惣名寿人契約サービスマングループリーダーらが基本的な仕組みを説明しました。
 地面を掘削して地中にパイプを通し、熱エネルギーを取り出して熱交換。冷暖房エネルギーとして利用するという

7月27日、東3号北6線の町有林内にある「プリウスの森」で、植林地の下草刈り作業を行いました。
 旭川トヨペット(株)（松尾俊彦社長）のCSR（企業の社会的貢献活動）の一環として森林整備に取り組み、6年前に植林した1畝の森は、シラカバ樹高約2メートル、ミズナラ同60センチ、ヤチダモ同1・5メートル程度まで生長しまし

た。その後毎年1回の下草刈りを続けてきました。
 同社員と家族、同社からマイカーを購入したユーザー合わせて76人が伸び放題に長く草丈の伸びた雑草刈りをしました。
 宗谷管内枝幸町から来ていた公務員（36）の方は、今年で3回目の参加。「旭川市内で二泊しました。こんな雨



キトウシ森林公園でスポーツ合宿



札幌市内在住の35歳から66歳まで13人が参加しました。公園内の「生活体験の家」で1泊2日のミニ合宿、そして忠別川河川敷のサイクリングロードをランニングし、緑いっぱいの空気を満喫しました。
 昨年からは健康づくりのミニキャンプを始めたそうです。本格的な健康づくり合宿というより、小旅行を楽しみながら体力づくりも始めよう、という試み。皆さんは初めての参加者同士ですが、公園内に移築した昭和初期の農家で学生時代に戻って合宿気分を楽しんだようです。
 今年は7月22日から2泊3日で、旭川医大競技スキー部（15人）も短期合宿を行いました。

ホームマックス社員が町有林で植樹



8月12日、東3号北6線の町有林で、ホームマックス(株)（札幌、石黒靖規社長）の社員が森林整備の一環として苗木を植樹しました。
 旭川市内5店と富良野店の若手社員25人が参加し、ケヤキハンノキ、シラ

カバ、ドロの3種類の苗木120本ずつ合計360本を植樹しました。
 植樹の方法は北大名誉教授、東三郎さんが提唱したカミネツコン方式。六角形の紙ポットに1本ずつ苗木と培養土を入れ、3つの樹種ポットをひとつくりにまとめて、浅く掘った表土上に置いていきました。
 環境をテーマにした社会貢献活動の一環として植樹を行っているということです。今年是全国30カ所、道内15カ所で植樹し、東川町でも取り組みを始まりました。今後3年間にわたって約0・4畝に植樹し、来年から4年間は年2回の下草刈りも行なって森づくりを進めるということです。

雨天決行の羽衣音楽祭に集う

7月27日、羽衣公園野外ステージで第19回羽衣音楽祭が開かれました。
 旭川市内のバンド、札幌、名寄、東川の混成バンド、役場職員で結成したバンドなど13バンドが熱演を披露しました。東川町役場の国際文化交流員として3年間勤めたウナ・ヴォルコヴァ

さんも「飛呼露天&ウナ」バンドのボーカルで最後のステージに登場。観客席から喝さいを浴びました。
 今年の会場はあいにくの雨天で時折強い雨に見舞われ、観客の出足をくじく一日でしたが、熱気いっぱいのステージを繰り広げました。



キトウシ森林公園の貸し別荘ケビンなどをベースキャンプ宿泊地として利用して、スポーツ合宿、健康づくり合宿をするグループ、団体が今年から現れ始めています。
 8月2日、1泊2日のミニ合宿を行ったのは、スポーツショップ、ニッセンスポーツ（札幌）が運営している「8SSP（ハチスポ）スクール」（八重樫和浩さん、古澤緑さん運営）の健康づくり合宿の皆さん。